



せいひ会だより

2015年(平成27年)
9月1日発行
<第185号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



夏と言えばお祭り！

風和の里でも、恒例の「納涼祭」を行いました。かき氷や綿菓子を食べながら、職員による出し物「よさこい」を鑑賞。力強く踊る職員に、見ている利用者の方も大盛り上がり！アンコールも3回！
「また来年も、楽しいお祭りをよろしくね」と、嬉しいお言葉まで頂きました。

8月の行事

- 01日 納涼祭(風和)
- 02日 夕涼み会(GH)
- 10日～31日 写真・作品展(風和)
- 17日 誕生会(元亀・通所)
- 21日 運営推進会議(GH)



9月の行事予定

- 02・16日 書道教室(元亀・通所)
- 17日 運営推進会議(寿限無)
- 19日 敬老会(風和)
- 20日 中山郷・せいひ会合同敬老会
- 21日～23日 シニアヴィレッジせいひ内覧会
- 21日 誕生会(元亀・通所)
- 21日 敬老会(寿限無)
- 25日 月見会(GH)
- 27日 お月見(風和)



☆8月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は元亀の里：川本 フジ様にお話を伺いました。

昭和6年、亀岳村亀浦郷に5人兄弟の5番目(男3人、女2人)として生まれる。

末っ子なのでとても甘えん坊だった。また、一番年上の兄はとても優しかった思い出があるとのこと。

父親は貨物船の船員、母親は百姓をしていた。父親は朝鮮まで航海して月に100万円程稼いでおり、亀岳では村一番の高給取りだったそうだ。

子供の頃は母親の畑仕事の手伝いをしていた。「今でも畑仕事は大好きです」とのこと。また、友達と近所の海で海水浴・貝堀り・素潜りなどを遊んでいた。素潜りは得意で3m程潜り、サザエやちゅうちゅう貝などを捕って遊んでいた。「勉強はいっちゃん好かんやつた」と話されるとおり、勉強よりも海や山で友達と遊ぶこと

の方が好きな女の子だったそうだ。

22歳の時に、大工の棟梁だった御主人と結婚する。「私には、もったいない良い旦那だった」と話される。若い頃、ハワイ旅行に御主人と行き、「砂浜がずっと続いとて、海でも泳いだとよ」と、思い出話を照れつつも嬉しそうに話されていた。

現在でも「友達と話すのが一番楽しか」と、他の利用者とよく話されている。また、元気のない他の利用者をお部屋までお見舞いに行くなど、人を気遣う姿もよくお見かけする。

85歳の誕生日を迎えた川本さん。お友達とたくさん話して、いつまでも元気で元気で笑顔を見せてください。

お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの中には、このバイタリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

写真・作品展



8/10~31、風和の里でこの1年間の写真や利用者の皆さんの力作を展示した写真・作品展を行いました。今年は、風和の里開設10周年ということで、施設ができる過程の写真も一緒に飾りました。見に来られた利用者や御家族からも、「こんな風にしてできたとね～」「もう10年も経つとね～！早か！」など驚きの声が。感慨深げに、ひとつひとつ写真をじっくりと眺められていました。

避難訓練



8/25、元亀の里で避難誘導訓練を行いました。新人職員を中心として、避難ルートの確認をはじめとして、簡易担架の作成方法やシーツを使用した搬送方法等を学びました。災害発生時に慌てることなく、利用者を安全に避難誘導できるよう活用ていきたいと思います。

うたの時間

あめ

元亀 岳本千代子

布望

元亀 中山千ト

菊花

風和 大川千代子

還

風和 河野ミエ

山紫水明

通所 山脇良人

夏祭

じゅげむ 山本一枝

うたの時間

台風は
寄り道なしに
(風和) 中島マツ

勇しき踊り
ヨサコイの
(風和) 作中和子

燃えて咲き
散りて消えゆく
夏の想い出
(通所) 竹下晶子

二度としないと
戦争は
民が泣く
(風和) 立石ミドリ

精霊流し



今年も、せいひ会のロゴマーク入りの精霊船を、通所利用者の方々が飾り付けてくれました。8/15当社は、立派に飾られた船を、花火をしながら賑やかにお見送りしました。

夏の風物詩

【寿限無】

残念な天気で室内鑑賞となりましたが、皆さんの目線の先にはきれいな花火が！



【元亀】

リハビリ室で収穫したスイカです。少し小振りな気もしますが…中はご覧の通り、真っ赤な食べごろでした。

夕涼み会



8/2、グループホームで夕涼み会を行いました。夕食をみんなで食べた後は、御家族も一緒にスイカ割り。見事に割れたスイカをほおばった後は、きれいな花火で夏の夜を締めくくりました。

シニアヴィレッジせいひ 内覧会について

日時：9月 21・22・23日
いずれも13時～16時まで

誠に勝手ではございますが、開設前の準備期間中ですので、日時を指定させていただいております。ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、施設開設後の内部の見学はご遠慮願います。

オヤジ 敏美 の独り言

〈親方日の丸の仕事?〉



ここ最近の「警報・避難指示」の出し方に、一石を投じたい。いろんな地域で様々な災害が起こっている中、気象庁を中心とし「早めの警報や避難指示」が出されているが、ここ最近、頻発しすぎて「オオカミ少年」のように感じる。

「またか」と思ってしまうのは自分だけだろうか？皆さんも少なからず、一度や二度は思ったことがあるはず。（違うかな？）

警報等を出すのは難しいと思うが、こうも頻繁に出

されると「またか」の感覚に陥り、心の中に「大丈夫だらう」との思いが生まれる。（非常に危険なこと）

また、こんなに頻繁に出されると『何か災害があった時の行政側の責任逃れ』（保身）のために出しているのか？とさえ思えてくる。

再度言うが、「警報を出す難しさ」は理解している。しかし国民が「またか」と思っている事実も理解してほしい。と思った今月でした。